

# 未来づくりにむけて



学長・環境最高責任者  
高橋 実

東日本大震災による被災者ならびに関係者に対して衷心よりお見舞い申し上げますとともに、早急な復旧・復興を切に祈念いたします。

名古屋工業大学では、物資の救援や義援金活動を行う一方、震災緊急講演会の開催や、節電対策チームを発足し、エネルギー消費を最小限にするための取り組みを実施しております。被災地の1日も早い復興にお役に立てるよう、今後も支援を続けてまいります。

名古屋工業大学は、「ひとづくり」、「ものづくり」、「未来づくり」をその教育・研究の理念・目標に掲げ、百年余の長い伝統の上に新たな風を吹き込むべく、魅力的で個性の光る自律性に富む大学となるべく歩み続けています。

20世紀後半以降、経済・情報のボーダレス化が進む中で、快適で安全・安心な環境と社会を実現かつ維持するために人類が解決を迫られている課題の多くは地球規模になっています。同じく、近年のものづくりは環境や安全・安心が大きな価値となるなど、以前とは価値観が変わってきております。本学は、こうした価値観のシフトに対応でき、自然環境との共生を強く意識し、持続可能なものづくりを通じて新たな社会的価値を生み出す人材を養成していきます。

2010年度には学生と教職員が一体となり、持続的社会的構築に資する環境調和キャンパスづくりを行うため、創エネ・省エネアイデアコンテストを実施しました。環境に配慮した多種多様なアイデアが応募され、今後は実現可能な応募アイデアをもとに、創・省エネルギー活動に向けての実施方策を選定し、実施していきます。

本学は2008年より環境に配慮した事業所として名古屋市よりエコ事業所の認定を受けておりましたが、2011年3月には引き続き認定が更新されました。また、教育・研究に相応しい潤いの感じられる緑豊かな環境を実現するため、キャンパス緑化の推進に継続して取り組んでいきます。

名古屋工業大学の全ての構成員がさらに環境への配慮を深め、地域に根ざした環境保全活動をより強力に推し進めるためには、本学の現下の状況の把握と分析がより一層重要です。ここに本年度の環境報告書を発行し、地域における環境の維持向上に役立てていきます。

2011年9月

国立大学法人名古屋工業大学長

高橋 実